



報道関係者各位

2017年3月 吉日

心臓病を合併したがん患者さんの診療の受け皿となる「がん心臓外来」を開設 ～がん治療と心臓病治療をオーダーメイドで並行して受けられるように～

国際医療福祉大学三田病院(東京都港区)ではこのたび、本邦で先駆けて「がん心臓外来」を開設いたしました。当外来は、心臓疾患や血管疾患を合併しているがん患者様が、心臓病治療とがん治療を並行して受けることができるようにすることが目的です。

東京都がん拠点病院である当院はこのたびの「がん心臓外来」開設により、循環器専門医と各臓器のがん専門医が密接に連携し、心臓病を持つがん患者様にきめ細かいオーダーメイドの治療をご提供いたします。それにより、一人でも多くの患者様のQOL（生活の質）や状況の改善に結びつくことをめざします。

■「がん心臓外来」導入の背景

社会の高齢化に伴い、がん治療を受ける患者様の年齢も年々上がっています。それに伴い、がん発症時にすでに心臓病の治療を受けている患者様の数も劇的に増加しています。

また、昨今の科学の進歩により分子標的薬と称される新しい抗がん剤が登場して、その恩恵を受ける患者様の数が増える一方で、抗がん剤の影響によって心臓病を発症する患者様も増加しています。

これまではこうした高齢者医療や新しいがん治療に精通した循環器専門医が少なかったため、抗がん剤の影響による心臓病の早期発見・治療は専門的に行われてきませんでした。そのため十分ながん治療を受けることができなかつたり、進行してから心臓病が発見されたりする例が多く認められ、適切ながん治療を受けることのできない、いわゆる「がん難民」を生む要因となっていました。

そこで今回、当院では心臓病を合併しているがん患者様や分子標的薬などの新規抗がん剤を使用している患者様を対象に「がん心臓外来」を開設。心臓病に対するきめの細かい診療と高度ながん医療を並行して受けられるようにいたしました。

厚生労働省のめざす「がん対策加速化プラン」では、がんと共生をテーマに心疾患の合併症を持つ患者様の管理などを求めています。アメリカではすでに2000年頃からがん拠

点病院において同様のしくみを整備し、がんの集学的治療に高い効果を得ています。

■「がん心臓外来」の概要

心臓病を理由に、他の病院で手術が困難であると診断されたり、治療の制約を受けると判断されたりした患者様を対象に、循環器専門医と各領域のがん専門医が密接に連携した診療体制を構築します。

具体的には、セカンドオピニオンを含めた心臓病の診療窓口となる外来を毎日、平日に開設。心臓病の状態を的確に把握し、がん治療と並行して進めるかを各領域のがん専門医と相談したうえで、その患者様に最も適した治療をオーダーメイドで決定します。

また、当院で分子標的薬などの新規抗がん剤治療を受けている患者様には綿密な心臓の評価を定期的に行うことで、副作用の発症やがん自体に伴う心臓病の早期発見を積極的に進めていきます。

さらに、がん治療を続ける中で急性肺塞栓症や急性心筋梗塞・急性心不全など、緊急性の高い心臓病を合併した患者様を積極的に受け入れることで、心臓病が原因で通院困難になったり、がん治療が受けられなくなったりすることを予防します。

当院でオーダーメイドの治療を受けている患者様からは、「これまでは循環器専門医とがん専門医にそれぞれ別の病院で診察を受けていたので、双方の連携が取れていなくて不安なこともあったけれど、今は安心して治療を受けられます」との声をいただいています。

■「がん心臓外来」の特徴

心臓病を合併したがん患者様に対しては通常、心臓病治療・がん治療の双方において、標準的な治療法では臨めない場合があります。しかし当外来では双方の専門医が連携してがんと心臓病の治療にあたるため、治療法の中から個々の患者様に適した治療法を選び、積極的に活用します。がんと心臓病の並行した治療について、専門的かつ身体の負担が少ない検査・治療が実施でき、さらには心臓病の早期発見、不安のない治療に専念できる環境をご提供することができます。

《本件に関するお問い合わせ先》

■国際医療福祉大学三田病院 総務課

担当：岩瀬、小林、金澤

TEL：03-3451-8121

■国際医療福祉大学三田病院 心臓血管センター

担当：准教授 田村雄一

TEL：03-3451-8121（代表） URL: <http://mita.iuhw.ac.jp/clinic/haikouketsuatsu/>